

単
元
名

～表現の工夫に着目して俳句を読む～

「俳句の読み方、味わい方」

教科書出版社名（東京書籍）

○ 中学校（ 3 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

・表現の工夫に着目して情景や心情を想像し、俳句を読み味わう力。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

・資料の活用により、俳句の良さを評価して、鑑賞文を自分の言葉でまとめ発信する力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…表現の特徴や作者について本・資料で調べ、必要な情報を情報カードに集める。
- 整理・分析…課題を解決するために調べたことを取捨選択し、自分の考えを整理する。
- まとめ・表現・発信…整理した情報をもとに、話の展開を考え構成し、自分の言葉で分かりやすく他者に伝える。また、調べた事を根拠に対話・議論し、納得解を見つける。

○ 学習の展開（全7時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	「読む」 ○教科書の俳句について、内容を想像して音読し、俳句の形式や表現を確認する。 めあて：「表現の工夫から情景や心情を捉え、俳句を読み味わおう。」
第2次 ☆	「調べる」 ○好きな俳句の資料を探し読み深める。俳句に詠まれている情景・心情を捉え、自分なりの鑑賞文をまとめる。 めあて：「表現の工夫や、俳句に表れているものの見方や考え方から、それぞれの俳句を読み深めよう。」
第3次 ☆	「ワールドカフェ」 ○鑑賞文を読み合い、発表し合う。 めあて：「どこに着目するか考え、作品の良さを評価し合おう。」
第4次 ☆	「句会を開く」 ○興味ある「季語」を調べてイメージを膨らませ、季語をもとに俳句を創作し、班で読み合う。クラス皆で良いところを発表して鑑賞し合い、俳句大賞を選出する。 めあて：「表現を練り上げ、作品の工夫や魅力について効果を考えよう。」

(本時7 / 7時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい

「調べた季語をもとに、表現を練り上げ、作品の工夫や魅力について効果を考えよう。」

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	1. 季語調べ 多種多様な本・資料を見比べるなど、歳時記のみでなく俳句作りや鑑賞の本等も活用する。	・「歳時記」や季語辞典など多くの本に触れさせる。
	季語調べにより、自分の興味や創作したい俳句のイメージを十分に膨らませる。	
15	2. 俳句を作る 学校生活や放課後のことも含め、自由に題材を見つけ、興味ある情景や自身の心情を俳句にする。画用紙に清書し、皆に発信しやすくする。	・多くの本や資料から季語を見比べ調べることで、創作したい俳句のイメージを膨らませることができる。
15	3. 班で、句会を開く 班で、順番に回ってくる各班の俳句を吟味し、優秀句を選ぶ。どういところが「良い」と思い選んだのか対話し、選んだ根拠を伝え合う。	・俳句を選ぶ時は、理由や根拠、良い箇所を伝え合うようにする。
10	4. クラスで、句会を開く ・選ばれた俳句から、さらに班で意見交換し工夫や魅力を伝え合い議論しあい、班の意見をまとめる。 ・班の中で一つを選び黒板に提示するとともに、根拠を述べ推薦し、クラス大賞を決定する。	・作品の工夫や魅力について効果を考え、今後の俳句作りや表現に生かすようにする。

図書館活用
ポイント

